2022年度（令和4年度）　学 校 経 営 基 本 計 画　栃木第四小学校

はじめに

学校教育目標の具現化を目指して教職員が一丸となり、創意と活力に満ちた教育活動を展開することで、一人一人の子どもの健やかな成長を目指して確かな学力を育み、夢や希望を抱いて心豊かにたくましく生きていく子どもを育てたい。また、山本有三の精神「生命・人権尊重・絆」を基盤とした教育活動の中で、「たった一人しかない自分のよさをのびのびと発揮し、たった一度しかない一生を自らの意志でいきいきと切り拓く力（生きる力）を身に付けさせたい。そのために、子どもたちが自分の大きな目標に向かって努力し、一人一人が自信をもって夢にチャレンジしていく学校づくりを推進する。

このような考えに基づき、本校の子どもたちの健やかな成長のために、学校経営理念を「向上無限」とし、この理念に向かって、教育目標の具現化を図るための学校経営を行う。

学校経営の理念

向上無限　　～常に自分の夢に向かってチャレンジし、学び続ける～

知・徳・体　のバランスのとれた教育の推進とともに家庭・地域と連携した特色ある学校教育を積極的に展開し、心豊かにたくましく生きる子どもを育てる学校づくりを推進する。

学校教育目標

元気な子　本気で学習する子　根気強い子　心の豊かな子

目指す子ども像

★よく考えてやりとげる子ども　　（知：頭づくり）
　○ 自ら学ぶ意欲をもち、自ら課題を見つけ考え、学んだことを生かして
　　さらに深く考え判断し、表現できる子どもを育てる。
★心豊かで思いやりのある子ども　（徳：心づくり）
　○ 自らの感じ方、考え方を大切に伸ばすとともに、
　　思いやりの心をもち、正しい行いができる子どもを育てる。
★じょうぶでたくましい子ども　　（体：体づくり）
　○ 運動に親しみ、心身ともに健康でねばり強い子どもを育てる。

Ⅰ　学校経営の基本方針

１　学校教育目標の具現化に向け、創意ある教育活動の計画的・継続的な展開に努める。
２　「チーム栃四小」のＯＪＴ組織を軸とした協働体制のもと、教職員が主体的に参画する学校経営を実践する。
３　児童一人一人が自己肯定感や自己有用感を十分味わえるような学年(学級)経営を実践する。
４　心が通い合う、明るく生き生きとした豊かな人間関係を育む環境づくりに努める。
５　確かな学力を身に付け、生き生きと学ぶ子どもの育成を図る。
６　特別支援教育の充実を図るとともに、家庭や地域社会への啓発に努める。
７　教職員の危機意識を高め、自他の安全や人権を尊重する子どもの育成を図る。
８　開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会・関係機関との連携を密にし、「小中一貫教育」「コミュニティスクール」の推進に努める。

Ⅱ今年度の努力点・具体策

元気な子

１　体力向上に向けた指導　＜楽しく意欲的に運動する場の設定＞

・楽しさを味わい運動量のある体育の授業の工夫
・学校行事と関連した指導の充実（運動会、持久走大会等）
・遊具を活用した外遊びの推進（固定遊具、一輪車、竹馬等の活用）

２　健康づくりのための指導の充実　＜健康保持の推進＞

・「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
・養護教諭と連携した保健指導の充実
・栄養教諭と連携した食育と給食の指導の充実
・学校保健委員会の活性化(校医・ＰＴＡと連携)

３　教育相談の充実　＜心と体のバランス＞

・児童理解を深める情報交換と協力体制の充実
・スクールカウンセラーの活用
・関係機関との連携

４　安全・防災教育の充実と日常的な危機管理の徹底＜安全を意識した生活指導の工夫＞

・体験を重視した安全教室の開催
・災害や事故等における危機回避能力の系統的な育成、様々な想定での避難訓練の実施
・日常的な安全点検の徹底と、安全を意識した生活の実践

本気で学習する子

１　「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善＜課題の発見や解決に向け主体的・協働的に学ぶ学習の充実〉

・自ら課題をもてる授業、考えさせる授業、分かる授業への工夫・改善（「とち介の学び」の実践）
・問題解決能力の育成（学び方の指導、学びのスキルを身に付ける、学び合いの実践）
・体験学習や教育機器を積極的に取り入れた実践（ＩＣＴ機器の効果的な活用）
・自ら課題を設定し、方法を考え追及していく総合的な学習の時間の充実（資質・能力を意識した指導と評価）

２　学力向上を目指した指導の充実　＜学業指導の充実と基礎基本の確実な定着＞

・複数教師による指導や習熟度別指導等の充実
・スクリーニング検査による児童理解と対応の充実
・学習習慣の定着（学習のきまりの徹底、ホームラーンの充実）

３　思考力・判断力・表現力を高めるための指導の充実＜言語活動を取り入れた学び合いの充実＞

・自分の考えをもち、表現し、対話を通してより深く考える児童の育成（学び合いの場の充実）
・読書の奨励と読書指導の充実
・発達の段階に即したプログラミング教育の推進

４　一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実＜一人一人の児童理解と支援＞

・ユニバーサルデザインに基づいた学習環境づくりと授業構築
・交流学習の充実
・配慮児童一人一人に応じた支援の工夫と全教職員の共通理解（すくすくシートの活用）

根気強い子

１　「めあて」達成のための指導・支援＜目標設定と評価の工夫＞

・目標設定と振り返り、自己評価の充実

２　主体的に取り組む行事や特別活動等の充実＜自主的、実践的な態度を育成する場の設定＞

・行事等に主体的に取り組めるような指導・支援の充実と、満足感や成長を感じられるような振返りの場の設定（事前・事後の指導の充実と工夫・改善）
・特別活動（児童会活動・学級活動等）となかよし班活動の充実
・意欲と特性を生かした課外活動の実施

・環境学習の継続（学校内外の緑化推進、ビオトープの有効活用）

３　キャリア教育の充実

・自己を見つめ、生活をよりよくしていこうとする意欲と態度を育てる指導の充実
・自他のよさを生かし、進んで集団の中で役割を果たそうとする児童の育成

心の豊かな子

１　人間関係を育む活動の充実

＜互いのよさを認め合い、助け合う態度を育てる指導の充実＞

・様々な学校生活の中の活動における意図的な指導
（登下校班、清掃活動、給食、委員会活動、特別活動、学校行事等を通して）
・異年齢集団の効果的な活用
・集団の中で個が生きる活動の重視

２　基本的生活習慣の定着と積極的な児童指導の推進＜きまりや約束を守る指導の充実＞

・基本的な生活習慣の確立（生活のきまり等の指導の徹底）
・問題行動の未然防止・早期発見と組織的な対応

３　道徳教育の推進と人権教育の充実　＜人権が尊重された学級づくり＞

・特別の教科道徳の授業の充実（指導・評価の工夫改善）
・人権感覚の醸成と人権意識の高揚を目指す指導の充実（人、物、言葉を大切にする心と態度を育てる）
・いじめや差別を許さない学級づくり

４　豊かな心を育む教育の推進　＜心を耕す多様な体験活動の充実＞

・あいさつ運動の推進（自ら進んで明るいあいさつができることを目指す）
・ねらいを明確にした豊かな体験活動の実施（環境教育、福祉教育、キャリア教育の充実）

家庭・地域社会・関係機関との連携

１　コミュニティスクールの推進

・学校運営協議会との連携協働
・交通指導員、交通安全ボランティア、スクールガードリーダーとの連携

２　小中一貫教育の推進

・小中における一貫性のある教育の推進
・各種部会を核とする連携強化
・幼小中との交流体験

３　地域の教育力・外部組織との連携・協働

・アシストネット（学校支援ボランティア）の積極的な活用
・ふるさと学習の計画的・系統的な学習の充実（地域環境の授業活用や教材化、人材の発見・活用推進）
・地域社会への参加、貢献

４　学校関係者評価の実施と報告

・学校運営協議員、保護者による学校評価の実施
・評価結果の公開による説明責任

５　学校情報の積極的な発信

(※地域・家庭への広報活動と地域の声を傾聴する活動を充実)

・自由参観日、授業参観の実践
・親子交流学習や高齢者とのふれあい活動の充実
・ＨＰ、学校、学年、各種通信の定期的発行
・ＰＴＡ総会(学校経営方針、教育活動の取組を説明)